

## 藤代 一成 (ふじしろ いっせい)



1960年東京都渋谷区生まれ。1979年千葉県立千葉高等学校卒業。1883年筑波大学第三学群情報学類卒業。1985年同大大学院一貫性博士課程工学研究科電子・情報工学専攻修士号取得退学。1988年理学博士（東京大学論文博士）。東京大学理学部情報科学科助手（1985～1988年）、筑波大学電子・情報工学系助手・講師（1988～1991年）、お茶の水女子大学理学部情報科学科助教授・教授（1991～2004年）、東北大学流体科学研究所教授（2004～2009年）を経て、2009年より慶應義塾大学工学部情報工学科教授、2015年同塾特選塾員、現在に至る。その間、米国ニュー

ヨーク州立大学ストーニーブルック校コンピュータサイエンス学科客員教授（1994～1995年）、高度情報科学技術研究機構特別招聘研究員（1997～2004年）、日本原子力研究所（現日本原子力研究開発機構）総括研究グループ研究員（2001～2003年）、科学技術振興機構総括研究グループ研究員（2003～2006年）併任、日本大学文理学部、宇都宮大学教育学部、筑波大学大学院工学研究科/大学院理工学研究科/第三学群情報学類、山梨大学工学部、武蔵工業大学（現東京都市大学）大学院環境情報学研究科、東京大学大学院情報理工学系研究科/新領域創成科学研究科、上智大学理工学部、山梨学院大学経営情報学部、宮崎大学大学院工学研究科等の非常勤講師多数。ビジュアルコンピューティング、特にボリュームグラフィックスや可視化ライフサイクル支援、複合現実型並置化と多感覚情報呈示による知的環境メディアの実現に関する研究に従事。原著論文150編 [GSC (Google Scholar Citation) 総引用数 1,601, h-index 22, i10-index 34]。The Most Cited Paper Award for the Journal Graphical Models 2004-2006 (Elsevier Science), 平成18年度情報処理学会論文賞, 平成21年度芸術科学会国際CG大賞最優秀賞, 平成28年度画像電子学会最優秀論文賞を含む受賞27件。特許3件。編著書37冊のうち、主なものにCAD/CAM (丸善, 1990年, 編著), コンピュータビジュアライゼーション (共立出版, 2000年, 共編著), ビジュアル情報処理—CG・画像処理入門—, コンピュータグラフィックス (画像情報教育振興協会, 2004/2014年, 編集委員長), 等。IEEE Computer Graphics and Applications 誌 (Vol. 28, No. 5, 2008 ; Vol. 35, No. 6, 2015), 日本計算工学会誌 (第10巻, 第1号, 1995年) を含む国内外の学術誌ゲスト編集・監修5冊, 論説85編。IEEE Transactions on Visualization and Computer Graphics (1999～2003), Elsevier Computers & Graphics (2003～2013), Springer Visual Informatics (2016～)他の国際学術誌エディタ。International Workshop on Volume Graphics 2003/2005 (Tokyo/Stony Brook), IEEE Shape Modeling International 2006 (Matsushima), IEEE Pacific Visualization 2008/2014 (Kyoto/Yokohama), Cyberworlds 2013 (Yokohama), ACM VRACAI 2014/2015 (Shenzhen/Kobe), NICOGRAPH International 2016 (Hangzhou), TopoInVis2017 (Tokyo), CG International 2017 (Yokohama)をはじめとする関連国際会議大会・プログラム委員長24件, プログラム委員122件等。情報知識学会理事, 画像電子学会理事・副会長・評議員・代議員・VC委員会委員長, 芸術科学会理事・副会長, 可視化情報学会ビジュアルデータマイニング研究会初代主査・理事, 他を歴任。現在, 画像電子学会会長, 芸術科学会評議員, 画像情報教育振興協会評議員, 情報科学国際交流財団理事。IEEE Computer Society (VGTC), ACM (SIGGRAPH), Eurographics, CGS, 情報処理学会 (コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学), 日本バーチャルリアリティ学会, 映像情報メディア学会, 電子情報通信学会各会員。既婚, 一女一男の父。ウェブページ: <http://fi.ics.keio.ac.jp/> (更新:2016年7月1日)